

# ぶな

2023年9月号  
NO. 534



滋賀県勤労者山岳連盟 比良雪稜会

## 《 卷頭言 》

### 雑 感

T. F

最近登山の途中で、よく頑張りますね、すごいですね！ と声を掛けられることがしばしばある。私としてはそんなに頑張っている積りはないのだが・・・。もちろん登山だからそれなりに努力はしているが、それは前からのことで、年齢には関係ないと思っているし、今までどおりにやってきただけであると思っていた。

しかしながら、最近少し状況が変わってきたことに気付いてきた。

先日 10 日ぶりにトレーニングで比良の霊仙山（790m<sup>㊦</sup>）に登った。栗原～ズコノバン～霊仙の 1 時間半の周回コースである。これまで 10 回以上は散歩がてら行っていたところである。ところが、今回霊仙山からの下りで太ももの裏が痛くなり、2 時間も掛った。理由を考えてみると、前回の山行でちょっと無理をしたこと、前回の山行から 10 日経っていること、である。以前ならばちょっとの無理はトレーニングになり、体力の向上につながったが、そうはならないようになった。また、10 日の間隔も長すぎるようになった。残念ながらこれが実態のようである。

話は飛ぶが、このところ高齢者の山岳遭難がしばしば報じられている。これらに滑落、転落、転倒などが多い。私はこの原因は技術不足より不注意が多いと感じている。冬季や積雪期は別として 3000m 級でも注意深く登山道を進む限り転倒、転落や滑落はほとんどしないで山行できる。高齢者は体力が低下しているにもかかわらず、これまでと同じ調子で山行するため、疲労し、意識朦朧とまではいかなくても、注意不足となり、事故を起こすのではないだろうか???

そこで、散歩程度のトレーニングは毎日欠かさない、ちょっとした登山を 1 週間以上開けないで実施する、無理はしない、などに心がけている。そうは云っても最近車の運転を辞めたので登山口まで行くにも、そこそこ時間や体力、費用が掛り、この指標を守るのも難しい状況になってきた。

あと 4、5 年はこの生活を続けたいと願うばかりである。

目次	
巻頭言	1
目次	2
<b>【例会案内】</b>	
登山祭典案内・音波山	3
鈴鹿縦走・石樽峠～釈迦ヶ岳	4
<b>【例会報告】</b>	
柳生街道剣豪の道	5
アルプス入門 立山・大日岳・称名滝	7
<b>【個人山行報告】</b>	
四国 三嶺から剣山	10
憧れの劔岳・別山尾根	12
爺が峰・鹿島槍ヶ岳	15
尾瀬湿原とその周辺	16
第4回リーダー会議事録	19
9月予定表	20

表紙写真:立山例会  
真砂岳から別山への縦走路  
撮影者: S. H  
日時: 2023.08.4

〈 例会山行案内 〉

登山祭典 兼 秋の公開野点山行

余呉トレイル

音波山 (872.6m)

… 中央分水嶺の県境尾根歩き ブナ黄葉など 秋を満喫しませんか！ …

日 程： 2023 年 10 月 22 日(日) (雨天中止)

コース： 堅田駅 7:35=(貸切バス)=小野駅=和邇駅==365 号栃ノ木峠手前の  
登山口 10:15~765m~巡視路分岐~音波山・昼食&野点 (時間があれば  
もう少し先まで足を延ばします)~(往路を戻る)~365 号栃ノ木峠手前  
の登山口 16:15=(バス)=和邇駅・小野駅・堅田駅(18:15 頃帰着予定)  
歩行 約 5 時間

集 合： JR 堅田駅 7:35 又は小野駅 7:45 又は和邇駅 7:50

交 通： 貸切バス

持 物： 弁当・飲物・雨具・ライト等の日帰り装備

参加費： 会員&家族・会友：2500 円

一般：3700 円 (バス代・抹茶&菓子代・保険代等含む)

定 員： 50 名

締 切： 10 月 15 日(日) 但し定員になり次第締切

秋のメイン行事です！  
会員は早めに申込ください。  
家族・友人・知人も是非お誘いください。  
野点をします！ 賑やかで楽しい山行としましょう！

〈例会山行案内〉

## 鈴鹿 県境稜線を往く 石樽峠⇄釈迦ヶ岳

日程 9月23日(土・祝)

集合：堅田駅 6:30

石樽峠～釈迦ヶ岳間の県境稜線を前回予定区間も含め一気に歩きます。見晴らしの良い稜線歩きは満足の山行となるでしょう。ガレ場の通過には注意を要します。

コース 堅田駅 6:30＝石樽峠 8:45～ピーク 792 9:13～三池岳 10:36～中峠 11:07～  
仙香山 11:18～釈迦ヶ岳 12:25(昼食) 12:55～仙香山 13:56～中峠 14:07～三  
池岳 14:38～石樽峠 16:12(解散)

コースタイム倍率×1.1のペースで計画しています。

昼食時間 30分

距離 11.8 km 累積上り 1105 下り 1105m

難易度 体力★★★★☆ 技術★★★★☆☆

装備：弁当・飲み物・雨具・行動食・非常食・手袋・地図・ヘッドライト  
その他日帰り登山装備  
虫・ヒル対策品

締切日 9月18日(月)

中止：前日9時の予報で降雨・強風の場合は中止にします。この場合12:00までに連絡します。

<例会報告>

## 柳生街道剣豪の道

【日 時】2023年7月23日(日) 晴れ

【参加者】4名

【行程】集合近鉄京都駅 7:50 京都駅 8:04 = 大和西大寺 = 9:00 近鉄奈良駅着 近鉄奈良駅より東向き4番バス乗り場柳生方面 9:19 発 = 10:06 柳生着

柳生～10:15 家老屋敷見学～10:32 摩利支天～10:35 柳生八坂神社～菖蒲園～10:40 旧柳生藩陣屋跡～11:05 一刀石・天石立神社～11:35 疱瘡地蔵～12:15 おふじの井戸～12:20 南明寺(ランチタイム)13:00 出発～野外活動センター～13:40 夜支布山口神社～鉄塔～14:50 忍辱山円成寺

忍辱山バス停 16:07 = 16:35 近鉄奈良駅 16:46 = 大和西大寺 17:08  
= 17:50 京都駅着～解散

梅雨明け間もない本日 猛暑の中2回目の街道歩きとなりました。

奈良駅からバスで50分遙か遠くへ来た!!と実感 猛暑の中のウォーキングでしたが、時折爽やかに吹く風に感謝しながらてくてくと本日の行程の始まりです。柳生氏が治めた一万石の地 家老屋敷に立ち寄り、その昔NHK大河ドラマ「春の坂道」でその名を一躍有名になったことを思い出しました。柳生八坂神社から陣屋跡を経て、一刀石・天石立神社まで木陰の中暑さを忘れるくらいの涼しい道のりでしたが、本日一の急坂を登り、柳生宗厳ゆかりの石、戸岩谷の7メートル四方の巨石が見事に中央から二つに割れているのには驚きでした。相手を天狗と思って切ったのがこの石だったと伝えられているようです。少し下りそこの住人の方に「今日は「天立石神社祈禱の日、好いときに来た」と言われました。暑い中のウォーキングも良い日と言われ救われました。南明寺を目指しそこはロープが張られ中に入る事は出来ませんでした。木陰を探してお昼タイムとなりました。

夜支布山口神社(日本古代の法令書に乗っている歴史ある神社、現代も町の氏神として信仰されています)から本日最終目的地の忍辱山円成寺まで、時折休憩を挟み、水分

補給をしっかり取りゆっくり歩きとなりました。円成寺はまだアジサイがきれいに咲いていて、街中との温度差を感じました。剣豪の里、柳生は盆地にひっそりたたずむ小さな独立した国の様でした。(記S)



一刀石



夜支布山口神社

## <山行報告> アルプス入門 立山・大日岳・称名滝

参加者 8名

行程

8月4日：電鉄富山 5:21 =(電車)= 6:13 立山駅 7:20 =(ケーブル)=  
7:27 美女平 7:40 =(高原バス)= 8:30 室堂  
室堂 8:40 - 9:41 一の越 - 11:38 雄山 - 12:20 大汝 - 13:18 真砂岳 -  
14:19 別山 - 15:20 剣御前小屋  
8月5日：剣御前小屋 6:30 - 7:42 新室堂乗越 - 9:55 奥大日岳(昼食) -  
13:25 大日小屋 (この後希望者のみ) - 14:15 大日岳 - 14:40 大日小屋  
8月6日：大日小屋 6:10 - 9:35 大日平小屋 - 12:15 称名滝登山口  
称名滝 13:10 =(バス)= 13:25 立山駅 14:00 =(電車)= 15:10 電鉄富山駅



**8月4日(1日目) 【室堂～雄山～真砂岳～別山～剣御前小屋】快晴**

5:15 電鉄富山駅集合。前夜、リーダーの先輩が経営してる居酒屋カントリーハウスで顔合わせ後、それぞれ駅近くのホテルに泊まった。

5:21 始発に乗る。のどかな田園の中をガタゴト揺られ、

6:13 立山駅着。めちゃくちゃ人が多い！石山寺の観音様が駅前に祭られていた。ご縁有、登山の無事を祈る。

7:20 ケーブル発。早くに並んだのに、後ろに並ばされて座れなかった！！

7:27 美女平着。

7:40 高原バス発。ここでK氏が乗っていない事に気が付く！同時刻にもう一台出ていてそれに乗っていた。良かったあ、離れないでね！！

8:30 室堂着。涼し～い。

8:40 石碑の前で集合写真を撮り、さあ出発。なだらかな石畳の道に行く。周りは花々に覆われているが、チングルマはもう種になっている。2,500mあたりで短い雪渓を渡る。



- 9 : 17 祓堂で休憩。眼下雷鳥沢のテント群が色とりどりできれいだった。
- 9 : 41 一の越着。休憩。目の前に雄山の岩稜が迫る。
- 10 : 27 2,860 辺りで休憩。
- 10 : 57 雄山(2991m)着。集合写真を撮って休憩。たくさんの人だった。社のある最高地点には行かず、先へ。
- 11 : 38 大汝山(3015m)着。黒部ダムと湖が見える。30分程昼休憩。皆さんここ迄来ないのか、だいぶ人が少なくなった。バイオトイレ 100 円。
- 12 : 28 富士の折立(2999m)の横を通過。最高点はとがってる。その後急下降。
- 12 : 56 降りきった所で、休憩。
- 13 : 18 真砂山(2861m)着。こちらはなだらかな山容だ。
- 14 : 19 別山(2874m)着。この登りはきつかった。空荷で別山最高点(2880m)へ。  
 劔岳が間近に見え、迫力！！登山道の怖かった事を思い出した。
- 15 : 20 劔御前小屋着。一部屋に全員入る。韓国人の団体さんと横浜のみろく山の会(会員数 700 人！！)の団体さんと一緒だった。(K)



### 8月5日(2日目)【劔御前小屋～大日小屋】晴のち雨

2760mの劔御前小屋から 2425mの大日小屋までの一日、距離も初日より3kmほど短い。朝焼けの後立山連峰は美しく明けた空に雲はない。それでも午後は雷雨予報、出発は1時間早めとなる。Iさんの後輩(先輩の方は写真苦手とか)の小屋の方と記念撮影をして6:30 出発。まずは400mの下り、時間とともに増える高山植物、南東に広がる山々、遠く白山までの見える絶景に幸せな一時間。雷鳥沢から登ってくる人たちとの合流点新室堂乗越着。一息ついて目指すのは2606mの奥大日岳、今度は250mの登り。救いはどれだけ観ても飽きることのない劔岳。Hさんに教えてもらい早月小屋が確認できた時はテンションMax。途中に雪渓もありで奥大日岳山頂に。朝食から既に5時間経過、昼食を兼ねての長休憩が嬉しい。ほっこりと充電できて出発。再びの下り。振り返るとそれまで雲一つなかった空にガスが出始める、まだ11時なのに・・・と思いつつ傾斜のきつい箇所を下りていたときKさんが1mほど滑って右足の甲を痛める。その場でできる対処をし、なんとか歩けるとのこと、Kさん小屋までの約二時間痛そうながら頑張りました。小屋がもう直前という七福園のあたりで雨が落ち始め急いで雨具装着、雨は急に大粒になったりするのでお花畑を鑑賞するゆとりはなかったです。思ったより濡れることなく小屋につけたのは幸運でした。その後、雨のやみ間に希望者のみで大日岳をピストン、ガスで眺望はなかったものの、一生懸命餌をついばむ雷鳥に出会えました。小屋に戻って半時間後には本格的な雨模様となり、今朝の1時間早い出発に感謝。



さて、渋いランプの宿・大日小屋、夕食後にギターの生演奏もあるそうです。早寝の私は夢の中でうっすらとやさしい音色を聞いた・・・ような・・・でした。(K)

8月6日(3日目)【大日小屋～大日平～称名滝登山口】晴

5時10分 朝食を取っていると劔岳の右から美しい日の出が見えた。

6時10分 出発する。少し歩くと大きな岩がでてきた。注意しながら歩く。

7時45分 岩ごろごろの急な下りが続き、Kさんがバランスをくずしブッシュの中へ一回転しながら転ぶ。転けた場所がよかったので、膝の治療をして再び歩くことができた。木道がでてきた。

9時35分 大日平小屋到着。トイレ借りようとしたが宿泊者のみ利用可とのことで、すぐ通過した。木道が長いが少しずつ下る。

10時35分 階段、鎖、ハシゴ等々の牛首回り、まだまだ下りが長い。11時休憩水分補給、パン等食べる。

12時15分 アスファルト舗装の道に出た。

約6時間全員無事下山しました。本当にお疲れ様でした。(Y)



(一口感想)

今回、アクシデントはありましたが天候に恵まれ、ガスや大雨もギリギリセーフ。去年、登った劔岳。うん、かっこいいし、大きい！早月小屋あんな所にあったんやあと再確認。凄く近くて全貌が見えるのに感激。

素敵な企画ありがとうございました。(H)

山に囲まれ大絶景。立山連峰・遠くに槍ヶ岳・薬師岳・後立山連峰・白山などなど、なにより劔岳がメチャクチャかっこいい！大感動です。お花もいっぱい綺麗でした。大日小屋からの下り、すごーく長かったです。(T)

2日目、Kさんが骨折する事故が発生しましたが、幸い救助要請をすることなく下山できました。右足の踏ん張りがきかない状態で下山したKさんの頑張り体力も立派ですし、全員が協力して下山した結束力を示すこともできました。Kさんの件は、明日は我が身と考え、日頃から体力維持に努め、山では慎重に行動するようにしたいと思います。

今回アクシデントはありましたが、天候に恵まれ稜線から眺める山々、日の出、お花畑、、、色々楽しむことができたのでないでしょうか。

(紙面に余裕があるので)

私は40数年前、初日宿泊した劔御前小屋で3年にわたってアルバイト(繁忙期)・居候をしていました。もう知っている人はいないだろうと思ってましたが、大先輩居候のMさんがいて嬉しかった。そして現在の小屋支配人(トモちゃん)は、気前よく記念写真に入ってくれました。この小屋は稜線にあり水が少ないですが、劔岳登山のベースにできますし、写真撮影にも良いです。いい小屋ですよ。(I)

## 《個人山行報告》

# 四国 三嶺から剣山

2023年6月23日(火)～26日(金)

参加者 7名

コース 24日 名頃登山口 7:50～三嶺 11:40～白髪避難小屋 15:20

25日 白髪避難小屋 6:45～丸石 11:45～剣山 15:30～山頂ヒュッテ 15:50

26日 剣山山頂ヒュッテ 8:30～見ノ越 10:20

22日出発の予定だったが、天気予報を見て1日後ろにずらし、23日の朝、車2台で堅田を出発した。見ノ越の民宿で宿泊。寒くて霧が深く、夜は風が強かった。

24日、車で名頃登山口に移動した。風は収まっていて晴れ、気持ちの良いなだらかな登り、途中鹿よけネットを張る作業をしておられる20人ほどのグループに出会った。「三嶺の自然を守る会」で、労山のメンバーがたくさん参加されているとのことだった。縦走路に出て、益々景色が良くなった。三嶺山頂からの下りはこのコースで一番の難所、鎖場を慎重に下った。白髪避難小屋の定員12,3人程かと思う。私たちだけで使えた。水場は高度差60m程下ったところにあり、全員分14Lを上げた。綺麗そうな湧き水だったが、煮沸して使用した。

25日は見通しの良い曇り空。笹原の縦走路とシロヤシオとツルギミツバツツジが満開の明るいブナ林、遠景には今日の目的地の剣山、何度かのなだらかな登り下りを繰り返して、到着した。

最終日は見ノ越に下山した。今回のコース全体が地元の方々の行き届いた手入れで守られていることを知った。



## 一口感想

「荷物をできるだけ軽くして歩いた。避難小屋でツエルトを使ったのは暖かくて良かった。素晴らしい天気で景色も最高でした」 (Y)

「深夜、避難小屋の外に出た時に感じた心細さ、戻ってシラフに潜り込んだ時の安堵感、闇で山の大きさや深さを感じました。貴重な体験でした」 (K)

「縦走路良かったです。また一つ、四国の山が好きになりました。」 (T)

「天気が良く、縦走路は雄大な景色や紫・白のサツキの群落が続き、期待にたがわず素晴らしかった。」 (F)

「三嶺・次郎笈、行きたかった山を縦走出来て良かったです。素晴らしい景色に感動しました」 (T)

「久しぶりの避難小屋泊で、楽しかった～」 (K)

<個人山行>

## 憧れの劔岳・別山尾根

日時：2023年7月16日(日)～7月18日(火)

参加者：2名

行程：7/16 大津出発 0:00＝名神・北陸道立山 IC＝立山駅(ケーブル・バス)7:10＝室堂 8:20-30～雷鳥沢キャンプ場 9:40-50～新室堂乗越 10:10～劔御前小舎 11:50-12:05～劔沢キャンプ場 13:25(幕営)  
7/17 劔沢キャンプ場 5:20～前劔 7:15-35～カニのたてばい 8:35～劔岳山頂 9:20-10:00～カニのよこばい 10:25～劔山荘 12:45-13:35～劔沢小屋 14:00-10～劔沢キャンプ場 14:20(幕営)  
7/18 劔沢キャンプ場 7:25～劔御前小舎 8:15-35～雷鳥沢キャンプ場 10:00-10:15～雷鳥荘 10:35-11:05～室堂 11:40＝(バス・ケーブル)立山駅＝立山 IC＝帰滋

7/16 劔岳は三度目の挑戦。一昨年、昨年といずれもテントを担いで劔沢テント場まで行きテントを張ったものの強風だったり天候悪化で撤退。なかなか登らせてもらえない。今回も海の日三连休に予定していたが、天候を見て一日ずらすことにした。恒例の夜中出発。四時半ごろ立山駅に到着。三连休ということもありいつもの駐車場はすでに満車。下の駐車場に何とか駐車できた。7時10分のケーブルに乗車、バスに乗り換えて室堂へ。テント泊荷物を担いでスタート。今回は出来るだけ荷物を軽くすることに心がけ17キロ程になった。天気はどんより曇っている。雷鳥沢のテント場からいよいよ本格的に登りが始まる。今回も昨年同様、少し時間はかかるけど雷鳥坂の急登を避け、新室堂乗越経由で登る。お花畑に癒されながら劔御前小舎へ。劔沢テント場まで下る。すでにたくさんのテントが張られている。岩場にトイレがあるので、あまり遠くないところに設置。その後少し雨や風も吹いたけど、何とか収まった。休憩後、雪渓を渡って劔沢小屋に行ってみた。狙っていた劔人のTシャツとビールを購入、明日は晴れますように。今夜は重さ対策でレトルトをやめてα米とフリーズドライの畑のカレー。ちゃんとヤングコーンやなすも入っていて美味。ウインナーをインして完食。明日の用意をして就寝。お天気になりますように！

7/17 5時出発を目標に3時起き。目覚めの悪いリーダー。テントを開けると目の前にドカ〜とカッコイイ劔岳。今日はいい天気。“よろしくお願いします”30分ほど遅れ劔人のTシャツを着こんで出発。劔山荘の横を通ってまずは一服劔へ。気を引き締めて登らなくては。しっかりした鎖もあり整備されているので怖くはない。前劔で小休止した後、慎重に進む。鉄板の一本橋が登場しドキドキしながらクリア。登ったり降ったり雪渓の横を進む。カニのたてばいを越えると早月との合流。絶好の登山日和、青空の下の方にむくむくと雲がわいている。そしてついに憧れの山頂へ。“やった〜！！”緊張がほぐれてウルウル。多くの登山者がいて祠の前では写真の順番待ち。後ろを向

いて剣人の写真を撮ってもらう。(これがやりたかった！！) ルンルン気分で大休止。陰しく厳しい山やったのに山頂はびっくりするくらい穏やかでまったりとした時間が流れ、昼寝をするなどみんなくつろいでいる。頑張ってる登ったご褒美かな？山頂でネズミを発見！！茶色くて小さいのがササッと移動するのを見た。後で調べたらカヤネ

ズミっぽい感じだったけど、こんな高いところに住んでいるのかな？びっくり。誰も動こうとしない感じだったけど、そろそろ下山。気を引き締めて頑張ろう。足首の痛みがあるリーダー、下山の方が足首に負担があるので何回も休憩を入れながら降りる。やっと剣山荘まで戻ってきた。日ごろ飲むことはないのに、なぜか山から下りた後は欲しくなる炭酸。コーラを飲んだ後、腹ごしらえも…と牛丼をかつ込む。あ～大満足。剣沢小屋で剣岳をバックにまたまた剣人Tシャツで記念撮影。雲がかかっていたのに、写真撮影の瞬間だけ雲が晴れて超ラッキー！！ビールを買ってテント場に戻る。登れた満足感と満腹感でいっぱい。夜中、外に出ると満天の星空。星座表に載っているみたいにいっぱいの星。星ってこんなにあるんやなあ・・・って見とれてしまった。充実の長い一日。

7/18 最終日、ちょっとゆっくりめに起きてテント前の剣を楽しむ。名残惜しいけど撤収。剣御前小舎に向かう。コーヒーを注文して休憩。帰りはゆっくり休憩を入れながら雷鳥坂を降りる。雷鳥沢のテ場で休憩、その後、雷鳥荘でも腹ごしらえ。ピザとコーヒーで文化的な？時間を過ごす。室堂にはお昼前に到着。楽しく充実した3日間。三度目の正直で登れた剣岳。リーダー、連れてきてくれてありがとうございます。足首大丈夫かな？

(一口感想)

2016年の7月に故藤田氏が企画されて中止となった剣岳の例会…。それ以来、毎年のように計画するも天候不良等で登れず仕舞い。早月尾根からの剣岳は初計画で登れたのに別山尾根からは何故か中々…。それがやっと今回、念願かなって別山尾根からの剣岳に登る事が出来た。最近右膝、右足首の調子が悪く少々不安もあったけど、お天気やパートナーにも助けられて楽しい山行となり感謝の気持ちで一杯です！ありがとうございました！(K)



<個人山行>

## 爺ヶ岳・鹿島槍ヶ岳

日 時：2023年7月26日(水)～28日(金) 晴れ午後から夕方に一時雨

参加者：4名

行 程：

26日 流杉 IC 発 5:40→扇沢 P 着 8:20 登山口発 8:50→ケルン 10:20→種池山荘 13:40

27日 種池山荘発 5:50→爺ヶ岳(南峰)6:45→冷池山荘 8:20→布引岳 9:55→

鹿島槍ヶ岳(南峰)11:00(休憩)11:20 発→布引岳 12:20→冷池山荘 13:30

28日 冷池山荘発 5:40→爺ヶ岳(中央峰)7:20→種池山荘発 8:30→ケルン 10:47→

登山口 12:15 途中入浴後、流杉 IC 着 17:00

今は富山市に住んでおり、たびたび滋賀県までいくのは大変です。そこで勤労者山岳連盟配下の富山ハイキングクラブにも所属し、山歩きをしています。会のメンバー4名で爺ヶ岳・鹿島槍ヶ岳へ行ってきました。

コースは扇沢登山口から宮田新道を登り、種池山荘～爺ヶ岳～鹿島槍ヶ岳(南峰)の往復コース。宮田新道は標高差1,000mのきつい坂ですが、大変よく整備されています。種池山荘から鹿島槍ヶ岳までは、特に危険な箇所はなく快適な稜線でした。





《個人山行記録》

## 尾瀬湿原とその周辺

日時 : 2023年7月27日(木)～31日(月)

参加者: 3名

場所 : 尾瀬ヶ原、三条の滝、燧ヶ岳、至仏山

行程 : 7月 27日 AM4:30T宅=4:40F宅=6:00 栗東=12:20 沼田 IC=13:15 戸倉  
14:00=14:20 鳩待峠～15:00 国民宿舎尾瀬ロッジ 泊

28日 6:00 起床 7:30～9:10 木道ベンチで朝食～10:00 東電小屋～10:30 山  
小屋方面分岐～10:50 温泉地区～12:20 三条の滝～13:40 平滑の滝～  
14:30 見晴檜枝岐小屋 泊

29日 5:20 見晴出発～5:53 尾瀬沼分岐～1650P～7:25 五合目 1900H～8:05  
朝食～ 10:00 燧ヶ岳頂上～15:00 檜枝岐小屋 泊

30日 5:00 起床=5:30 朝食 6:10 出発～7:10 竜宮十字路～8:00 尾瀬ロッジ  
8:20～10:15 展望良い岩場少休～11:20 少休救助ヘリ舞う～12:30 至仏  
山山頂 13:00～16:20 鳩待峠バス乗り場～17:00 戸倉バス停=17:10 民  
宿ペンションゆきみち 泊

31日 7:00 沼田 IC より長岡回りで=16:00 帰滋解散

27日(木) 朝早く、T、FはFさんに自宅まで来ていただき、4:40 早速出発。名神、中央道、関越道經由沼田 IC で高速を下り、戸倉へ。車は駐車場に置き、9名乗りタクシーにバス料金1,000 円/人、40 分で鳩待峠に着いた。早速木の茂った木道を右側通行で、緩い下り40 分で山の鼻に着き、国民宿舎尾瀬ロッジに投宿。2階建ての中央吹き抜けのなかなか良いつくりの建屋で、客も4, 5 パーティと少なく、更に風呂もあり、快適である。



逆さ燧岳

28日(金) 尾瀬沼までは遠いので朝食は弁当にしてもらい出発。10 分ほどで木立を抜け、天気が良く遠望がよい、広大な湿原に出る。時期柄水芭蕉やニッコウキスゲはほとんどないが、黄色いオゼギク、キンボウゲはポチポチ見られる。牛首を過ぎて、見晴へは直進せず、北の山側のう回路に入る。木道にはところどころベンチコーナがあり、朝食を摂る。何(ニッコウキスゲ?)を保護しているのかははっきりしないが、野生動物(鹿?)から差し渡し数百メー



三条の滝

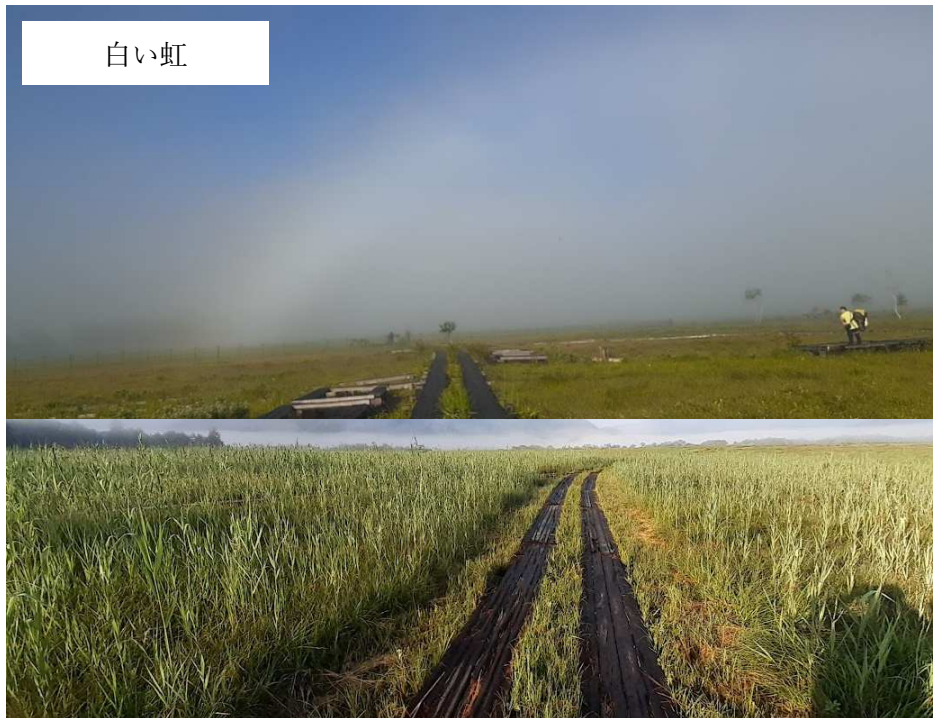
トルに及ぶ柵網が設置されていた。ほどなく東電小屋に着き、ここで尾瀬沼より近い三条滝を見ることにして、滝に向かう。しかしながら、道はぬかるみ、大きな石がごろごろで、段差も大きく非常に悪く1時間半掛り三条滝にようやく到着した。苦労のおかげで素晴らしい滝を見ることができた。水量が多く、尾瀬ヶ原に降った雨が集まり阿賀野川に落ちるところのようである。帰り道、急に激しい雷雨となりずぶぬれで桧枝岐小屋にたどり着いた。



29日(土) 燧ヶ岳登山:前日の反省から雨を避け早く下山するため5:20 出発。30分ほどで尾瀬沼方面への分岐を過ぎ、7:00 4合目迄来た。前日の雨で道は濡れており、6合目(2000m<sup>H</sup>)を少し過ぎたところで何とか倒木に座り朝食を摂る(8:05)。このあたりから登りはきつくなったが2時間ほどで山頂に到着。記念写真を撮り、雨に降られないよう早速下山開始。しかしながら、予報より1時間以上早く12時過ぎには、あつという間に大粒の雷雨となり、悪いことに稲光と雷音が同時に聞こえ雷雨の中心が登山道上にきたようだった。幸いダケカンバの高木が周りには茂っており、登山道は高さ2~3mの低木で落雷の直撃は避けられた。下るにつれ降った雨で登山道は泥川になり、水深も10cm以上にもなった。幸いスパッツで靴の中に水が入るのは避けられたが、全身ずぶ濡れで、15:00 やっと小屋に戻った。

30日(日) また雨に降られるのを避けるため、5:30 朝食、6:10 出発。早朝は霧が立ち込め、傍の人から非常に珍しい現象で霧に太陽光が反射して白い虹が見えると教えていただき、何となく虹らしきものを見ることができた。しばらくすると近くの霧は晴れてきて、遠方の山裾のみ霧がかかり、これもまた、印象深い風景を呈していた。木道はまっすぐ続き気持ちよい。かなりの部分は獣害を避けるため網囲いがされている。7:10 龍宮十字路を過ぎ、7:30 逆さ燧ヶ岳も確認して、予定どおり8:00 山の鼻迄戻

白い虹



り、尾瀬ロッジで朝のコーヒーを余裕もった気分でいただいた。  
8:20 至仏山に向けて出発、道は段差が大きく、滑りやすく、歩きにくい。ほどなく一人の女性が骨折で救助を待っているのに出会う。我々も疲れが溜まってきており、怪我しないよう歩くことを改めて確認した。皆疲れが出てきたようで、次から次へと後続の方々には抜かれ、ペースは非常に遅く感じられた。樹林帯を抜け標高1700m 付近で振り返ると尾瀬ヶ原の向こうに昨日登った燧ヶ岳が雄姿を見せていた。12:30 至仏山山頂に到着した。標高差 820m に4時間 10 分でやはりペースは遅い。昼食と記念撮影をして13:00 出発。後は下るだけと思っていたが、直下は岩場で段差が大きく歩きづらく、くたびれても居り、進まない。14:00 やっと小至仏山に。そこから、道の傾斜は緩くなり、最終バスに間に合うべく急ぎ、16:10 ようやく鳩待峠バス停へ下山した。

7/31 日(月) 昨夜は戸倉の民宿に泊まり、温泉と素晴らしい夕食で疲れを癒やした。新潟長岡周りで、関越道、北陸道とも車が少なく、来る時よりずっと楽に運転でき、滋賀に戻った。

#### 一口感想

「当初黒部五郎、水晶行を計画していたが、小屋の予約でミスしてしまい行けなくなりました。会社の休みを取っていた人もいるため小屋の多い尾瀬を考えたところの中。転戦できるようになりホッとした。燧ヶ岳の見晴からの登山道は聞いていた通り泥田の中を行くような悪路で、帰りは雷を伴う大雨で川のようになり靴の中もずくずく、二度と登りたくないと思った。山頂での見晴らしがよかったのが救いかな。至仏山では疲れが出て各駅停車の鈍行状態で皆さんの脚を引っ張ってしまった。

でもどこも景観はすばらしくまた来たいところであった。」 K.F

「初めて尾瀬に行った。写真で見たことがある尾瀬ヶ原の美しい景色を実際に目にして、「夏がくれば思い出すう～」と思わず口ずさんでしまった。

しかし、燧ヶ岳は登山道の殆どがぬかるんでおり、泥田の中を歩いているような感じだったが、その登山の真っ最中に雷雨に合った。登山道はたちまち泥川と化し、雷が鳴り響く豪雨の中、濁流と共に登山道を下るしかなかったが、どうにか山小屋までたどり着いた。しかし、翌朝、山小屋の主人から「雷雨の中、自力で帰れなかった人がおり、夕刻、そのパーティーの一人が救助を求めてきたので捜索に出かけた。助け出してここまで連れ戻ったのは夜 9 時を回っていた」という話を聞いた。

また、至仏山では、一方通行の山道を真剣な顔で逆走してくる登山者とすれ違った。理由を聞くと、「上で事故があり救助を呼びに下山する」と言って足早に下って行った。しばらく登ると、女性が一人、登山道の隅に座っており、声をかけると『骨折したので助けを呼びに行つて貰っている。これも人生経験のひとつです』と痛みを堪えて気丈に答えてくれた。

至仏山は殆どが蛇紋岩で出来ている山らしいが、この蛇紋岩が非常によく滑る。だから、気を抜かず常に足元に注意して歩かないと、こういった骨折にもつながりかねない。

今回の山行は雄大な自然の美しさに感動したと同時に、自然の怖さを実感した山行となった。」 T. T



《第4回リーダー部会議事録》

日時 8月9日(水)

場所 比良雪稜会事務所

出席者

議題1 例会実施状況（ヒヤリハット）

- ・鈴鹿縦走（石樽峠～三池岳）：石樽峠通行止めのため「日本コバ」に変更実施。ヒルに噛まれた人が多数。
- ・大比叡&祇園祭：特になし。
- ・柳生街道（剣豪の道）：特になし。
- ・立山～大日岳～称名滝：転倒骨折事故が発生。

議題2 9月～11月の例会計画

開催日	山域・コース	テーマ・内容・	担当者	レベル	備考
9月	17日(日)～ 18日(月・祝)	北八ヶ岳	周回縦走	体力 ★★★☆☆ 技術 ★★★☆☆	
	23日(土・祝)	釈迦ヶ岳 ～石樽峠	鈴鹿縦走	体力 ★★★★★ 技術 ★★★☆☆	
10月	22日(日)	音波山	登山祭典 秋の野点	体力 ★★☆☆☆ 技術 ★★☆☆☆	
	29日(日)	武平峠 ～根ノ平峠	鈴鹿縦走	体力 ★★★★★ 技術 ★★★★★	
11月	3日(金・祝)	大橋方面 荒川峠方面	水質検査 放射線測定	体力 ★★★★★ 技術 ★☆☆☆☆	
	12日(日)	ハイキングレスキ ュー講習会	滋賀県連	体力 ★☆☆☆☆ 技術 ★☆☆☆☆	
	19日(日)	藤原岳～御池岳	鈴鹿縦走	体力 ★★★★★ 技術 ★★★★★	
	23日(木・祝)	高取山	低山ハイク	体力 ★★☆☆☆ 技術 ★☆☆☆☆	

議題3 立山例会での事故報告

8月4日～6日に実施された例会で、転倒骨折事故が発生しました。（骨折については下山後判明）荷物の分担等の参加者のサポートにより自力下山しました。直接的な原因は、登山道端を踏み外したことによる転倒と報告を受けました。

【注意喚起】

- ・ヘルメット着用推奨山域以外についてもヘルメットの着用を推奨します。
- ・写真撮影をしながらの行動は充分注意してください。
- ・アルプス等への高山、宿泊山行は、各自十分なトレーニングを行い望んでください。
- ・リーダー部は、年に1回は安全登山に関する例会（講習会）の実施を検討します。また、県連のハイキングレスキュー講習会などがあれば積極的な参加をお願いします。

次回のリーダー部会議は、10月17日（火）です。



## 2023年9月予定表

1	金		19	火	
2	土		20	水	
3	日		21	木	
4	月		22	金	「ぶな」原稿締切
5	火		23	祝 土	秋分の日 例会山行 鈴鹿縦走(釈迦が岳～石樽峠)
6	水		24	日	
7	木		25	月	
8	金		26	火	
9	土		27	水	
10	日		28	木	
11	月		29	金	
12	火	第6回運営委員会	30	土	
13	水		編集後記		
14	木				
15	金				
16	土				
17	日	例会山行 北八ヶ岳			
18	祝 月	敬老の日 例会山行 北八ヶ岳			
10月の予定					
22	日	登山祭典(秋の野点山行) 音波山			
29	日	鈴鹿縦走 武平峠～根の平峠			
<b>今月号と来月号の当番</b> 今月号は H部・FCL)・H部・M・I東・I村・O村・M・O村・C・N野の皆さんです。 来月号は H部・FCL)・H部・M・I東・I村・O村・M・O村・C・N野の皆さんです。					



ぶな 2023年9月号 No. 534

滋賀県勤労者山岳連盟  
比良雪稜会

滋賀県大津市和邇今宿 712-1 西村方  
TEL&FAX 077-594-0454  
E-mail kazuyo-buna@river.sannet.ne.jp  
HP <http://www.eonet.ne.jp/~geonet/hira/>